

草津東高等学校図書館
本derful!委員 発行
2026年3月号
学校ホームページ版

3月6日(金)より
春休み長期貸出開始
4/10(金)まで借りられます
*大学入試過去問題集は別途
*春休み中は休館

図書館の本を
検索してみよう



新しく入った本や
貸出状況もわかる
草津東高校
蔵書検索
サイト

気になる大学名、職業名、
趣味のキーワードでお試し検索♪

*蔵書検索サイト URL は配付版「ペえじ」に記載



草津東高校貸出ベスト [貸出統計 2025.4.1~2026.1.31]

<小説部門>

- 第①位『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈:著 新潮社 [913.6 3]
- 第②位『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬:著 早川書房 [913.6 7]
- 『汝、星のごとく』 凧良ゆう:著 講談社 [913.6 4]
- 『小説 8 番出口』 川村元気:著 水鈴社 [B913.6 6]
- 『変な地図』 雨穴:著 双葉社 [913.6 7]

<マンガ部門>

- 第①位『チェンソーマン 5』 藤本タツキ:著 集英社 [M7 5]
- 第②位『ハイキュー!! 4』 古舘春一:著 集英社 [M7 4]
- 『呪術廻戦 17』 芥見下々:著 集英社 [M717]

<ノンフィクション・実用書・参考書部門>

- 第①位『大学入試 関正生の英語長文ポラリス 2 応用レベル』
関正生:著 KADOKAWA [G837.5 2]
- 第②位『金谷の日本史「なぜ」と「流れ」がわかる本 原始・古代史』
金谷俊一:著 ナガセ [G210.3 6]
- 第③位『やっておきたい英語長文500』 杉山俊一:著 河合出版 [G837.5 7]

『傲慢と善良』

辻村深月:著 [913.6 7]
朝日新聞出版

<あらすじ>

婚約者が突然いなくなり、主人公は彼女の過去を調べ始めます。その中で、人が恋愛や結婚に求める理想や思い込みに気づいていきます。自分の傲慢さと相手の善良さに向き合い、成長していく物語です。

<おすすめポイント>

ミステリーのように話が進み、先が気になるのでスラスラ読めます。登場人物の考え方や悩みがリアルに描かれていて、人の気持ちの難しさがよく分かります。恋愛だけでなく、家族や人間関係について考えるきっかけになるとも読みやすい本です。

『四畳半神話大系』

森見登美彦:著 [B913.6 7]
KADOKAWA/角川文庫

<あらすじ>

京都の大学に入学した主人公は、薔薇色の大学生活を夢見てサークルを選ぶが、現実には失敗と後悔の連続となる。選択を変えた複数の大学生活が描かれる中で、理想ばかり追い求めて今を無駄にしていた自分と向き合い、現在を生きることの大切さに気づいていく物語。

<おすすめポイント>

選択によって大学生活が何通りにも分岐する構成が新鮮で、主人公の後悔や迷いに強く共感できる。独特なテンポの語り口で楽しめる一方、理想ばかり追わず今を生きる大切さを静かに考えさせてくれる作品です。

本derful!委員のおすすめ本 ~1年7組、8組、9組担当~ *裏面に続く

『すべての恋が終わるとしても』

140字のさよならの話』

冬野夜空:著 [913.6 7]
スターツ出版

<あらすじ>

この本は恋の始まりや別れが描かれています。別れの場面を通して恋の切なさや温かさが感じられます。短編小説のほうでは客と店員という立場で出会い、想いを伝えられないまま別れるという話ですが過程が切ないものです。

<おすすめポイント>

この本は長い物語や本が苦手な人でも、読むことができると思います。短編小説と恋の感情を切り取った短い文章で構成されているため、ちょうどよい長さでとても読みやすいです。この本に共感できることも多くあるため、とても面白いです。

『映画ノベライズ ドールハウス』

矢口史靖:原案
夜馬裕:著 [B913.6 7]
双葉社/双葉文庫

<あらすじ>

5歳の娘を亡くした女性は人形を娘のように可愛がるが、次女の成長とともに手放すことにした。しかし、人形は戻り、不気味な出来事が続く。人形に隠された衝撃の秘密・真実が待ち受ける。

<おすすめポイント>

普段はホラーストーリーなどは怖くなり途中で読まなくなる事が多かったが、この本はどんどん続きが気になり、気がつけば読み終わってしまっていた。それほど続きが気になる展開がたくさんあり、楽しく読めた。ミステリー要素も入っていて、自分で自由に考察しながら読み進める事ができるのがこの本の魅力だと感じる。

ほんだふる
本derful!委員のおすすめ本 ～1年7組、8組、9組担当～

『15歳のテロリスト』

松村涼哉:著 B913.6マ
KADOKAWA
/メディアワークス文庫

<あらすじ>

この本は少年犯罪について書いた小説です。15歳の少年渡辺篤人が新宿駅爆破事件を起こす所から物語が始まります。過去に「少年犯罪被害者の会」に参加していた篤人を知っている記者の安藤が、篤人がテロリストになった真実を探していきます。

<おすすめポイント>

インターネットの恐ろしさや少年犯罪についてかなり詳しく学べるのでとても勉強になると思います。私はこの本を読んで少年犯罪について深く考えさせられました。様々な登場人物の心情が読み取れるのでとても面白いです。

『星の王子さま』

サン=テグジュペリ:著
内藤濯:訳 B953サ
岩波書店/岩波文庫

<あらすじ>

飛行士の「ぼく」がサハラ砂漠に不時着し、小惑星B-612から来た星の王子さまと出会う。その星の王子さまは自分の星に咲いてあるバラと喧嘩をし飛び出してきてしまっていた。しかし、地球でキツネなどに出会って大切なことを教えてもらい、王子さまにとってバラはかけがえのない存在だと気づき、自分の星に帰っていくお話。

<おすすめポイント>

「かんじんなことは、目に見えない」キツネが王子さまに言った言葉です。この言葉で本当に大切なものとは愛情や思いやりなどの心で感じるものなのだという事に気付かされました。また、キツネは王子さまに、自分が時間をかけて大切にしたのは最後まで自分に責任があり、その責任を果たさなければならないとアドバイスした場面があったのですが、これを読んで、自分が大切だと思っている家族や友達に対しては責任があるということに気付かされたし、もっと大切にしようと思えました。自分自身の本当に大切なものを見直すきっかけになる一冊だと思います。

不倫調査ばかりの探偵、小石は推理小説のような事件に飢えていた。女子高生に頼まれたのはまたしても色恋案件だったが、思わぬ事に繋がっていて…。
『探偵小石は恋しない』

本屋大賞2026ノミネート10作品

全て入りました! *入口特設コーナーに展示中

□『暁星』

湊かなえ:著 双葉社 913.6ミ

□『あrika』

瀬尾まいこ:著 水鈴社 913.6セ

□『イン・ザ・メガチャーチ』

朝井リョウ:著 913.6ア

日経BP 日本経済新聞社

□『失われた貌』

櫻田智也:著 新潮社 913.6サ

□『エピクロスの処方箋』

夏川草介:著 水鈴社 913.6ナ

□『殺し屋の営業術』

野宮有:著 講談社 913.6ノ

□『さよならジャバウォック』

伊坂幸太郎:著 双葉社 913.6イ

□『熟柿』

佐藤正午:著 KADOKAWA 913.6サ

□『探偵小石は恋しない』

森バジル:著 小学館 913.6モ

□『PRIZE—プライズ—』

村山由佳:著 文藝春秋 913.6ム

令和7年度(2025年度)の話題本

年間ベストセラー

[日販調べ 2024.11.20~2025.11.18]

☆総合1位 『大ピンチずかん 3』 鈴木のりたけ:著 小学館 E913.6ス3

☆新書ノンフィクション1位 『独断と偏見』 二宮和也:著

集英社/集英社新書 S767.8ニ

☆文庫1位 『国宝(上・下)』 吉田修一:著

朝日新聞出版/朝日文庫 B913.6吉

☆コミック1位 『呪術廻戦 30』 芥見下々:著 集英社 M730

♡先輩の
おすすめ本♡

『アルジャーノンに花束を
【新版】』

#海外小説
#人体実験
#知能向上
#生き方
#複数の先輩が
良かったと回答

ダニエル・キイス:著
小尾英佐:訳
早川書房/ハヤカワ文庫
B933.7キ

～3年生アンケートより～
Q 高校時代に
読んで良かった本は?

A 『アルジャーノンに
花束を』
ほか

図書委員会
カウンター当番日誌
より

最近の、くさひが図書館

・静かな空間でゆったりと過ごすことができた。

・本を読む以外に勉強する人もいた。

・雑誌にもアニメやスポーツなど色々な種類があった。

・本の種類がとても多いので図書委員をするのは大変だけど、図書室に
来て本を読むのは色々な本があるので面白そうだった。

・普段なら体験できないことを出来て良かったし、音楽も流れていたの
で落ち着いた時間を過ごすことができた。

来館お待ちしております(^-^)

お知らせ:春休み中は休館がめ～

